

日本の野鳥シリーズ

ウズラ主産の術

生産部 佐藤 弘

野生のウズラを見た事がある方はけっして多くないと思う。図鑑には、本州中部以北で繁殖し以南で越冬するとあるからどこにでもいる筈だが、見つけるのは至難の業だろう。

その保護色は茶系四色の濃淡が入り混じった迷彩だから、体の輪郭を形づくることなく見事に周りにとけ込んでしまう。

相模原市で農道を散歩中に、何かの気配を感じ足元を見ると右足の横 50 cm程に剥製が置いてあった。初めて観るウズラだが、籠の鳥と剥製は観察リストに加えない。

しかし剥製にしては色艶が良い事に気付き、静かに腰を降ろしながらテキパチと瞬いたのを私はシッカリ見届けた。微動もしないウズラとの根くらべに負けた私がそーっと手を伸ばすと、プルッという羽音を残して飛び去った。

こんなに近くで野鳥を観るのはそうある事ではない。雪の晴れ間に、草の種をむさぼるハギマシコという小鳥にどこ迄接近できるか、試みに仲間達と共に 1mまで寄った事がある。警戒心をかなぐり捨てていた。鳥の死因のトップは餓死だと言われる事を皆知っているから、静かにその場を離れた。

さてウズラだが、身を隠すものが無い所にタカやキツネ等の捕食者が現れると、動きを止め地べたに化けて敵をやり過ごすを見た。こんな知見を仲間内の飲み会の話題にすると、あるベテランはこれも保護色のヨタカに気付かず、危うく踏みそうになったと言う。緊張するウズラの「気」を感じ取った私には、野生がまだ少しは残っているのだろうか。

けどあのウズラめ、私はクマじゃないっ！。



皆様のお引き立てがあつてこそこの弊社であると常日頃より感謝しておる次第でございます。

まずもって今年もできるだけ「明るい顔・明るい言葉」でプラスの気呼び込むようにしましょう！

明るいとくころには明るいものが集まってくる、と単純

な私は信じ込んでおります。

お客様各位 新年元氣通信

本年も変わらぬご愛顧のほどをよろしくお願い申し上げます！

さて新洋技研工業はお陰様で28期を迎えました。そこで、今回は弊社の経営計画について少しお話しさせていただきます。

まず内外の環境分析を行い、そこから長期5カ年計画・中期計画を立て、この計画を元に単年度計画を作成し、そこから各部門における年度計画も作成します。そして一年がスタート…。

移り変わりが激しい現代において、いかにすばやいやい舵取りが必要であるか、会社が向かう先はどこなのか、どうしたらそこへ行けるのかの道標が経営計画なわけですが、本年は長期5カ年計画の4年目にあたり、次の5カ年を見据えた計画の準備をはじめなければならず目下頭を痛めているところですよ。

この経営計画作成で頭を悩ませながらもお客様先へ訪問していると時折お話の中でヒントをいただくことがあり、そんな時は「シメシメ、これはいいただき！」と思わずニッコリしてしまうことがあります。

弊社のお客様は「日本酒メーカー様」であり、日本酒メーカー様方のお陰をもつて事業が成り立っております。

皆様のお引き立てがあつてこそこの弊社であると常日頃より感謝

具慈酒（白マダイ）

飛鳥で婚礼の翌朝に、お頭付きの見事な白マダイの塩焼きを大鍋に入れ、たっぷりの酒を注いで振舞う習慣があった。酒と塩、具慈の身、皮の旨みが一体となった濃艶な味わいを腕に盛り豪快にいただく。なんともいえない旨みを引き出す神秘的な味だそうです。

香りには花からのメッセージが託されているのではないで

しょうか。

フラワーセラピー

つばき



そう思うと、より幸福な気分になさしてくれ

大地からたっぷりエネルギーを取り込んでいるつばき。落ち込んだ時、悲しい時、この花から元気をたくさんもらいましょう。つばきの「気」が疲れを吹き飛ばしてくれます。

つばきのフラワーティー

花を日干しにして細かくきざみ、小さじ1杯をカップに